

第2回鳴門市地域福祉計画審議会

議事録

日 時：令和4年9月1日（木） 15:00～16:00

場 所：うずしお会館2階 第2会議室

出席者：委員15名

白山委員、藤村委員、吉田委員、益岡委員、松本委員、尾形委員、
佐藤委員、山田委員、前田委員、矢野委員、小川委員、川端委員、
玉関委員、三宅委員、脇委員

事務局：7名 社会福祉課 他

傍聴者：0名

■会議内容

- 1 開会
- 2 議事録署名委員指名
- 3 議事
第2期鳴門市地域福祉計画骨子案について
- 4 その他
- 5 今後のスケジュール確認
- 6 閉会

議事 第2期鳴門市地域福祉計画の骨子案について

事務局説明

（委員長）

まず骨子案の第1章と第2章について説明ですが、この段階で各委員意見があれば、
お願いしたい。

（委員）

地区カルテの項目に婦人会が入っていない。婦人会は地域で活動している団体だと思
うが、なぜ入っていないのか。

(事務局)

本日の資料はまだ骨子案ということで地区カルテの内容もまだ確定していない。今後、第2回地域座談会を行う中で、地域での聞き取りを行い、追加を検討していきたい。

(委員)

第1回地域座談会においてアンケートを実施したと思う。その回答結果は、いつ反映させるのか。

(事務局)

地区カルテの部分に一部記載していくようになるが、詳しい内容については鳴門市社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画に記載していく予定。

また、第2回地域座談会において、地区ごとにアンケート結果を報告させていただく。

(委員)

子ども食堂の支援について、他市では、子ども食堂のロッカーを公共の施設に設置し、コロナ禍で支援を受けている人への配慮を行っている。このような取組を記載していただきたい。

(事務局)

子ども食堂については、重要な取組であると考えているが、具体的な事業となると個別計画の施策とも関連してくるので、担当部署と連携を図っていきたい。

(委員)

高齢者世帯のデータですが、同じ敷地内に子どもが世帯主になって居住している場合でも、高齢者の単身に計上されているのか。

(事務局)

ご指摘箇所のデータは国勢調査の結果を参照しておりますので、居住実態に近い数字となっている。

(委員長)

では、骨子案の第3章以降について説明してください。

事務局説明

(委員)

圏域の記載で、地区社協 13 地区とあるが、地域によって課題や求めるものが違う。計画推進の取組主体とも関連すると思うが、どのような整理になるのか。

(事務局)

地区毎の課題や取組については地区カルテの部分や、地域福祉活動計画に位置づけていく予定。

(委員長)

地区の位置図などを掲載してみてもいいのではないか。

(委員)

各取組を推進する主体のなかで地域住民の役割があるが、これが一番難しい。若い世代の参加等、住民の方に提案していく方法が難しい。良い方法があれば教えていただきたい。

(事務局)

地域住民が中心となる取組については、難しいということはわかる。他の自治体の例など参考にしながら一緒に考えていきたい。

(委員長)

SDGs の項目については、目標・施策ごとに位置づけが必要か。

(事務局)

鳴門市が策定している計画は、基本的 SDGs の目標に合致しているという観点から表示をしている。

(委員長)

この計画は鳴門市の地域福祉を推進する計画であって、SDGs 推進の計画ではない、勘違いされやすい。

(委員)

SDGsの周知という観点から参考資料につけたらよいのでは。

(事務局)

SDGsの記載箇所、本計画内での位置づけ等工夫したい。

(委員)

地域コミュニティの再構築のためには、比較的若い世代で構成されている消防団とのつながりを強めていくことが大事。

(委員)

アンケートの回答者はほとんどが高齢者。高齢者と子育て世代の中間世代の意見が少ない。介護の支え手側の意見も必要。

(委員)

福祉サービスを受ける側、提供する側、以外の人に関わることが重要。

記載内容としては、基本目標の取組主体者と計画の推進役割を整理したほうがわかりやすい。

(委員長)

ほかに意見もないようなので、骨子案についてはこれで承認していただけますか。

(全委員、承認)

(委員長)

本日出た各委員の意見を踏まえ修正の検討をしてください。

本日の議事は終了します。

その他の説明をお願いします。

(事務局)

次回の審議会は、パブリックコメント手続き前の計画素案について審議いただく予定。

時期については、11月中旬ごろに開催を予定。